

「生田仮想デスクトップ PC」の利用方法について (Mac 版)

2025.10.27

生田メディア支援事務室

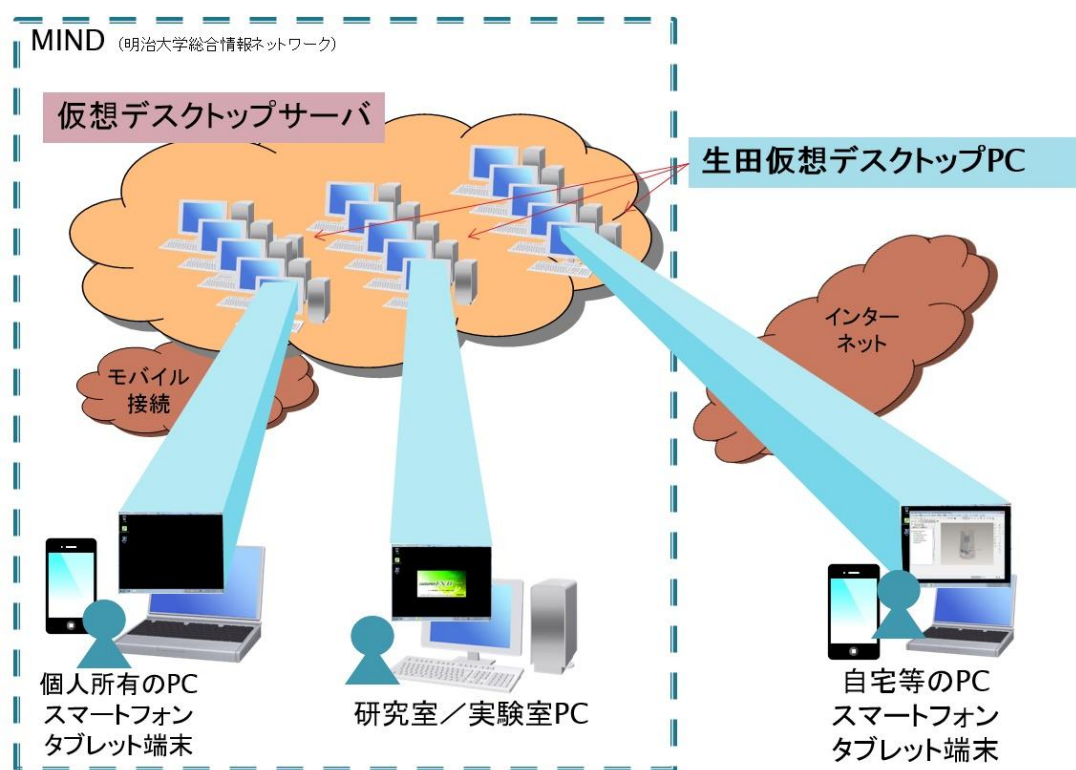
目次

「生田仮想デスクトップ PC」の利用方法について (Mac 版).....	1
1. はじめに.....	3
2. 名称変更について.....	4
3. 生田仮想デスクトップ PC の接続方法.....	5
2.1 HTML アクセス.....	6
2.2 Horizon Client アクセス.....	9
2.2.1 Horizon Client を初めて利用する際の手順.....	9
2.2.2 Horizon Client を利用する際の手順 (2回目以降)	13
3 生田仮想デスクトップ PC の終了方法.....	14
4. 生田仮想デスクトップ PC 利用上の注意	16
4.1. ファイルの保存について	16
4.1.1 「マイドキュメント」フォルダの利用	16
4.1.2 USB メモリの利用 (Horizon Client アクセスのみ)	17
4.1.3 「ドライブ共有」機能 (Horizon Client アクセスのみ)	19
4.2. CD/DVD ドライブの利用について.....	22
5. 参考資料.....	22

1. はじめに

「生田仮想デスクトップ PC」とは、学内サーバーシステム上に構築した仮想的な PC のことです。生田仮想デスクトップ PC を用いると、生田キャンパスの情報処理教室やメディア自習室の PC (Windows および Linux) にインストールされているアプリケーションのほとんど¹を、研究室／実験室の PC または自宅等の PC、スマートフォン、タブレット端末からネットワークを経由して利用することができます。

生田仮想デスクトップ PC には、「Web ブラウザ」(以下「HTML アクセス」と記します)あるいは専用の「Ommissa Horizon Client」(以下「Horizon Client」と記します)を PC にインストールして接続します。「Horizon Client」は、Window 版、Mac 版、Linux 版、iOS 版、Android 版等が用意されており、Ommissa 社の Web サイトから無料でダウンロードできます。



¹ ライセンスの関係から、情報処理教室やメディア自習室 PC で利用できるソフトウェアの一部については、生田仮想デスクトップ PC 上では利用できません。生田仮想デスクトップ PC から利用できるソフトウェアの一覧は、生田メディア支援事務室の Web ページ (<http://www.meiji.ac.jp/isys/comp/software.html>) をご覧ください。

2. 名称変更について

2024年秋頃、生田仮想デスクトップのシステムが名称変更されました。



変更前：VMware Horizon Client



変更後：Omnicast Horizon Client

3. 生田仮想デスクトップ PC の接続方法

生田仮想デスクトップ PC に接続する方法は、次の 2 通りです。

1. HTML アクセス

Edge や Safari などのブラウザを uses。PC に特別なソフトウェアをインストールする必要が無いので、管理者権限をもっていない PC からの利用に適しています。

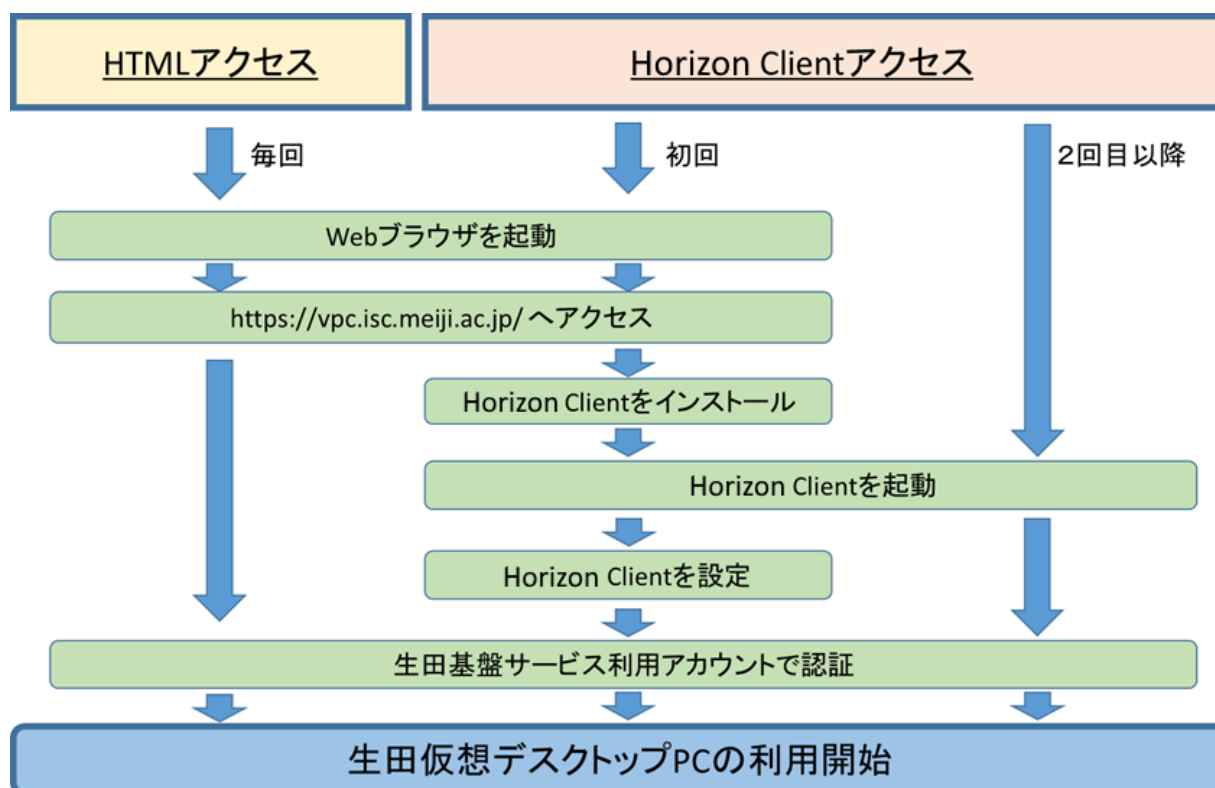
対応ブラウザ： Google Chrome Safari Firefox Microsoft Edge ※ブラウザのバージョンなど詳細については、 Omnissa 社ホームページ でご確認ください。
--

2. Horizon Client アクセス

「Horizon Client」という専用のソフトウェアを用いて接続します。このソフトウェアは無料で入手できますが、インストールするためには PC の管理者権限が必要です。Windows、MacOS 版以外に、iOS 版、Android 版、Linux 版など多種多様な表示デバイスに対応しています。

対応 OS： Windows Mac OS X Linux iOS Android ChromeOS
--

《生田仮想デスクトップ PC 利用までの流れ》



以下、それぞれの方法について解説します。

※本手引きでは、[MacBook Air \(Mac OS Mojave 10.14.3\)](#)からの操作方法を例にして記載しています。

2.1 HTML アクセス

(1) ブラウザを起動し、以下の URL を指定する。

<https://vpc.isc.meiji.ac.jp/>

(2) HTML アクセスを選択する。

画面右側の「VMware Horizon HTML Access」を選択すると、そのままブラウザを用いて仮想デスクトップ PC に接続できます。

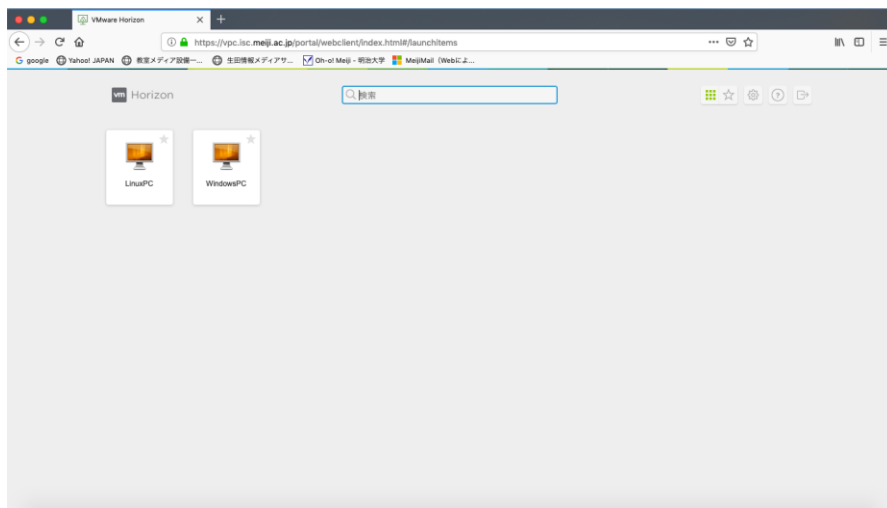


(3) 基盤サービス利用アカウント²を用いて、仮想デスクトップ PC に接続する。



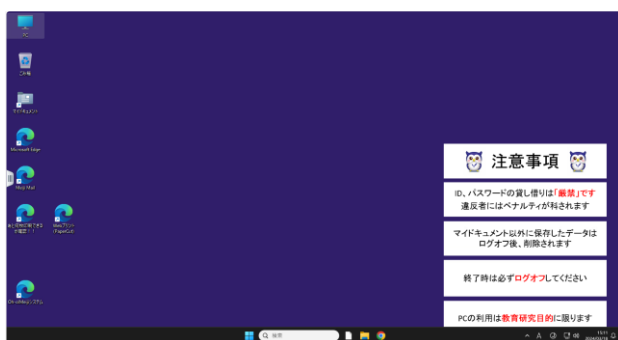
² 生田キャンパスの情報処理教室 PC やオープン PC で使用しているものと同じユーザー名、パスワードです。MeijiMail をご利用の方はメールアドレスの@の手前部分と同一です。Meiji ID では利用できません。

(4) 仮想デスクトップ PC(Windows もしくは Linux)を選択する。

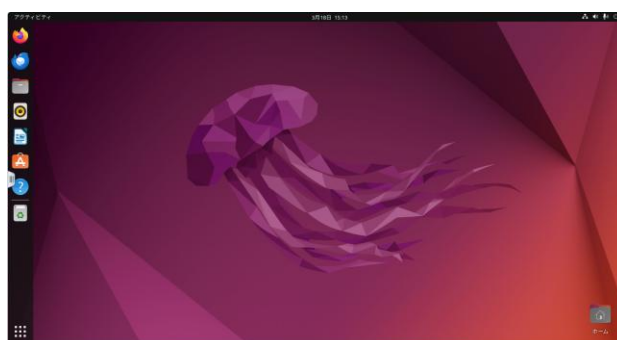


(5) ブラウザに、生田仮想デスクトップ PC の画面が表示される。

(Windows)

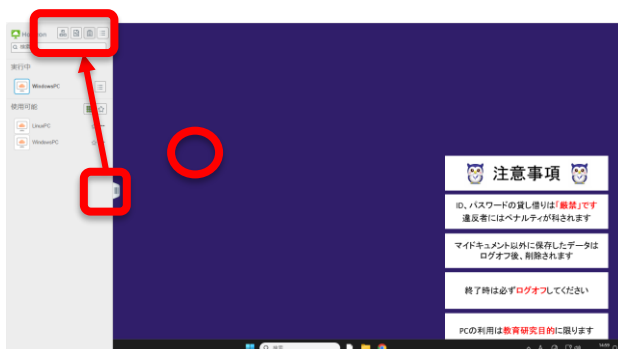


(Linux)

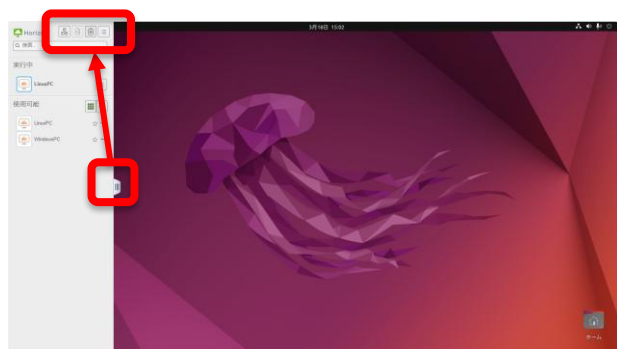


(6) “ファイル転送”や“Ctrl+Alt+Del の送信”などは、左端のタブを押してメニューから選択する。

(Windows)



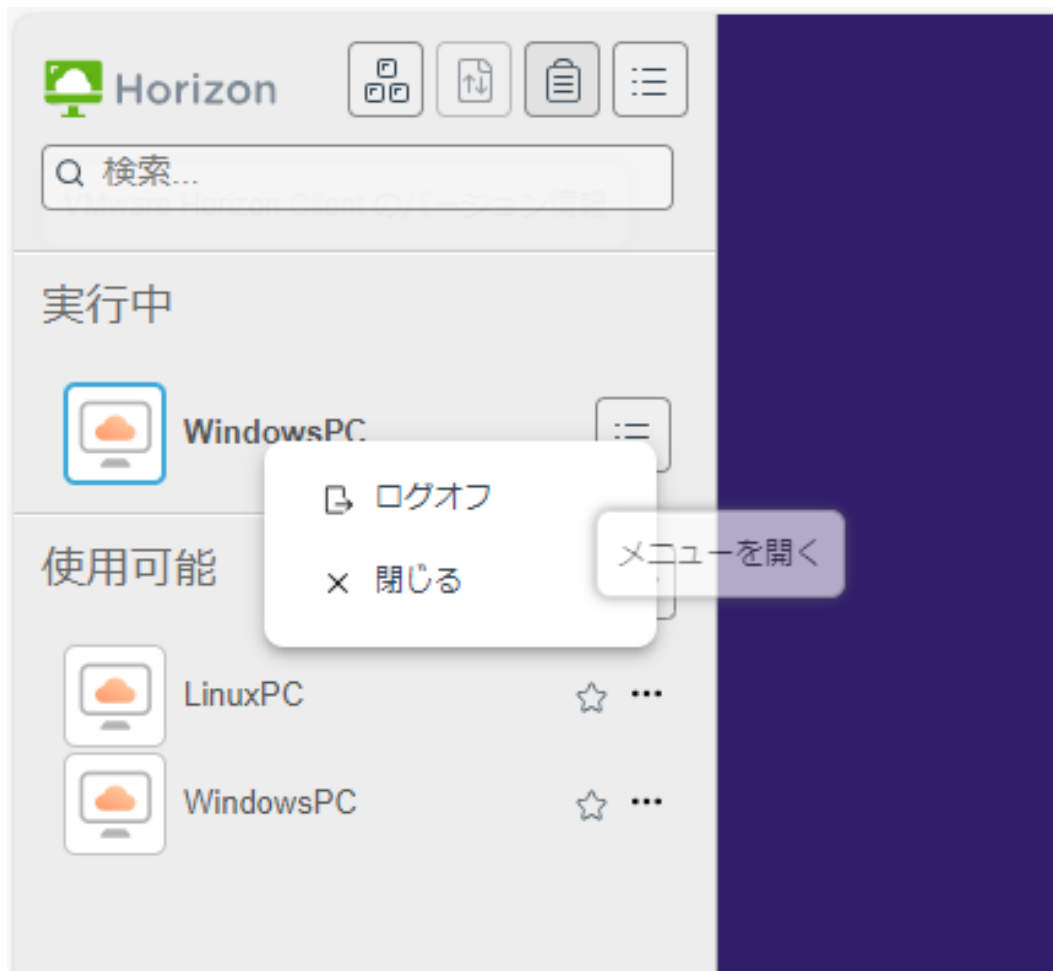
(Linux)



(7) HTML アクセスの終了方法

HTML アクセスで起動している仮想デスクトップを終了するには、画面左端のタブを開き、「実行中」に表示されている仮想 PC のメニューから「ログオフ」を選択してください。

(Windows、Linux とともに操作は同じです。)



2.2 Horizon Client アクセス

Horizon Client アクセスを初めて利用するときは、Horizon Client ソフトウェアを PC やスマートフォン、タブレット端末にインストールする必要があります。

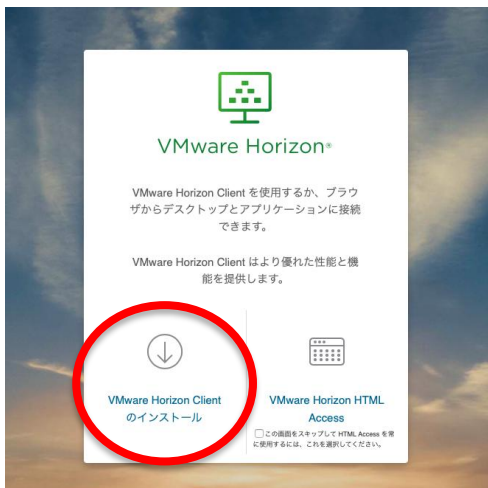
2.2.1 Horizon Client を初めて利用する際の手順

(1) ブラウザを起動し、以下の URL を指定する。

<https://vpc.isc.meiji.ac.jp/>

(2) VMware Horizon Client のインストールを選択する。

画面左側の「VMware Horizon Client のインストール」を選択すると、Omnissa 社のダウンロードサイトに接続されます。



(3) 表示された Products の中から、「Omnissa Horizon Clients」を探し、「View Download Components」を選択する。

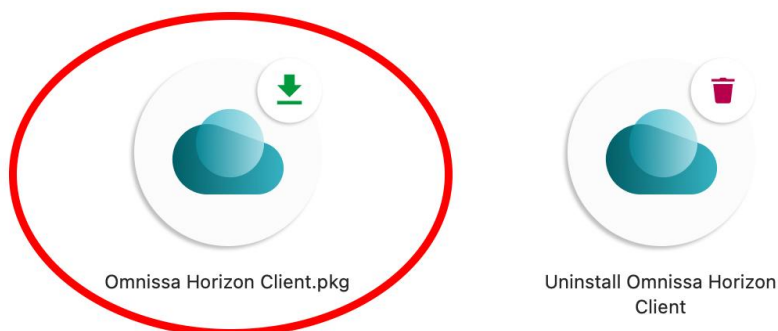
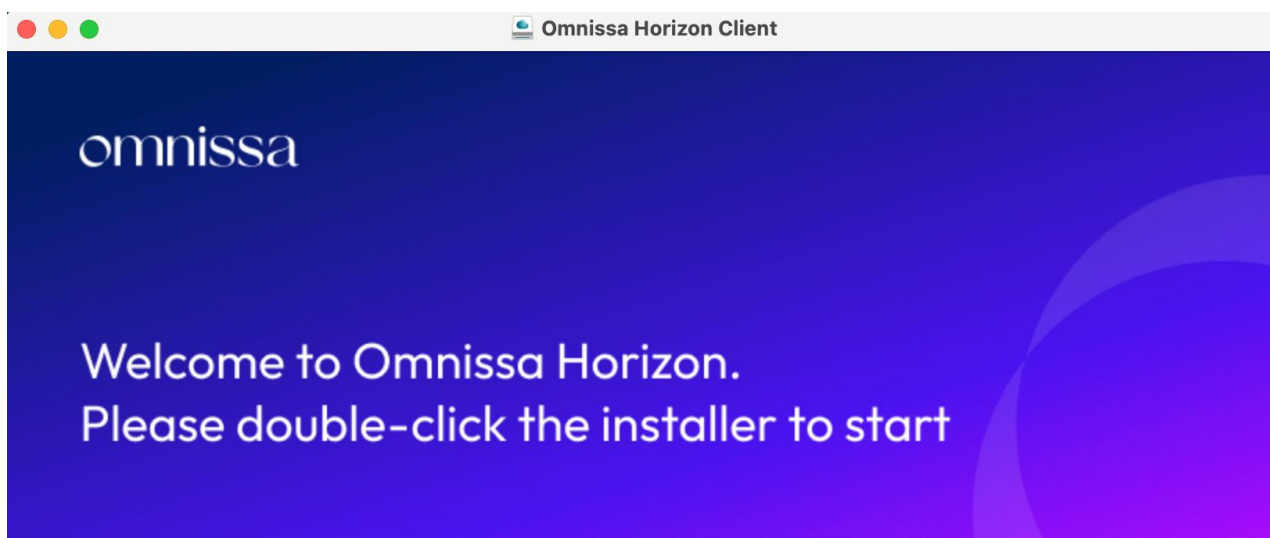
Products	
Omnissa Unified Access Gateway	View Download Components Drivers & Tools
Omnissa ThinApp	View Download Components Drivers & Tools
Omnissa Dynamic Environment Manager Omnissa Workspace ONE	View Download Components Drivers & Tools
Omnissa Workspace ONE Tunnel	View Download Components Drivers & Tools
Omnissa Horizon Clients	View Download Components Drivers & Tools
Omnissa Access	View Download Components Drivers & Tools

(4) Omnissa Horizon Client for macOS の「Go to Downloads」をクリックする。

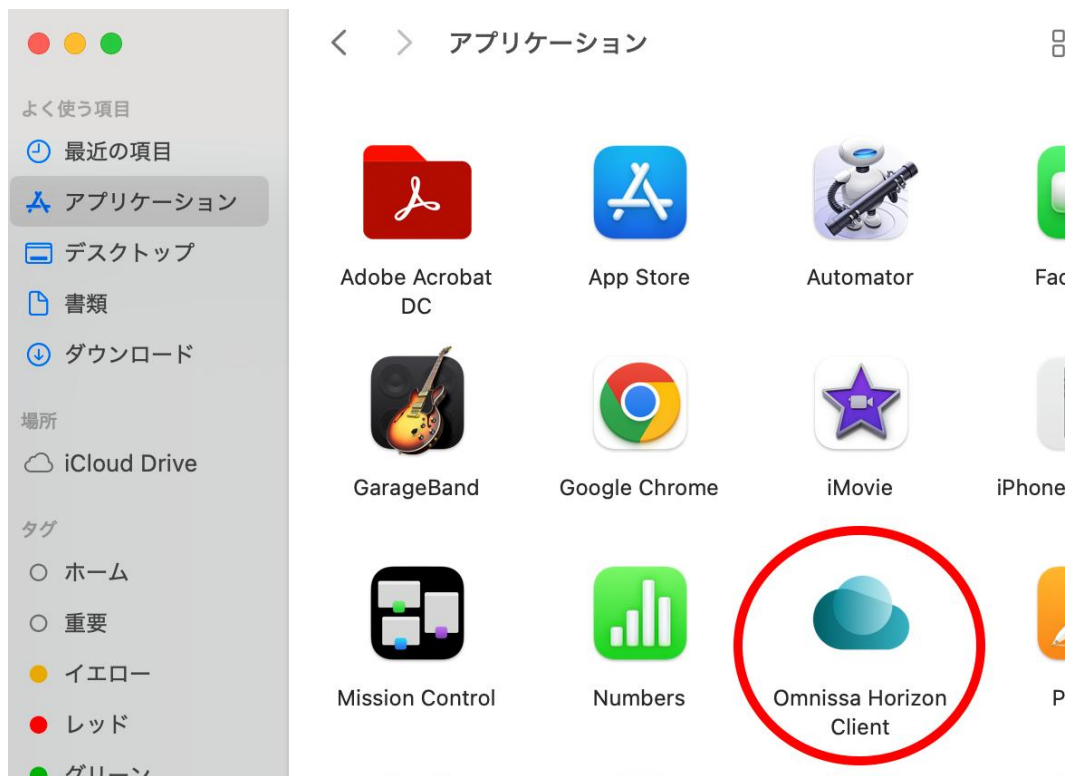
Product	Release Date	
▼ Omnissa Horizon Client for Windows		
Omnissa Horizon Client for Windows	2024-12-23	GO TO DOWNLOADS
▼ Omnissa Horizon Client for macOS		
Omnissa Horizon Client for macOS	2024-12-23	GO TO DOWNLOADS

(5) ダウンロードが始まる。

(6) ダウンロードが完了したら、ダウンロードしたファイルを実行、インストールを行う。

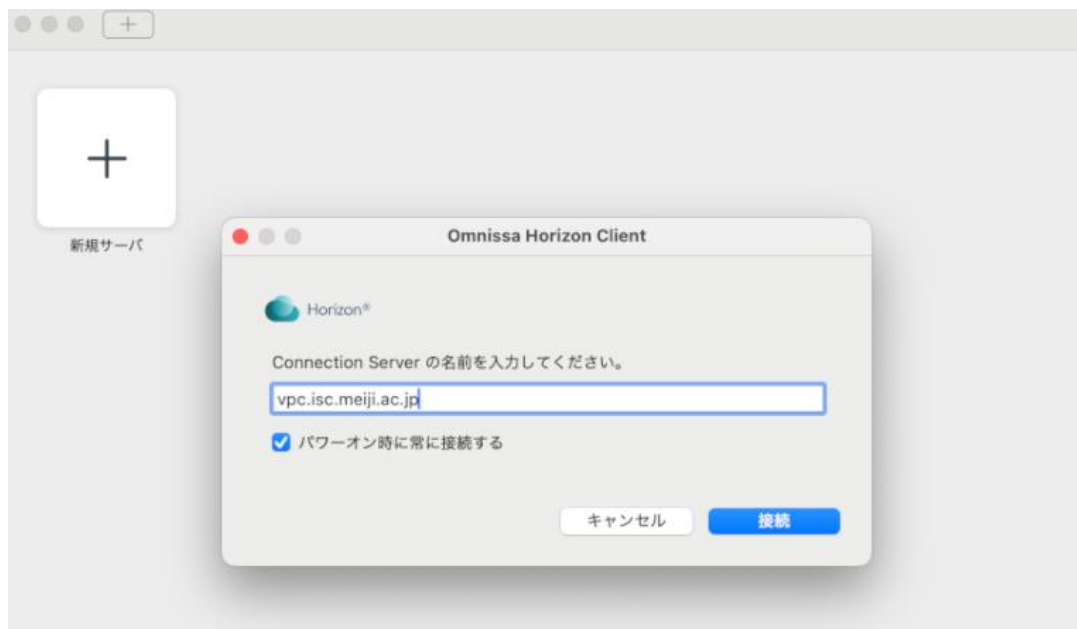


(7) インストールが完了したことを確認する。

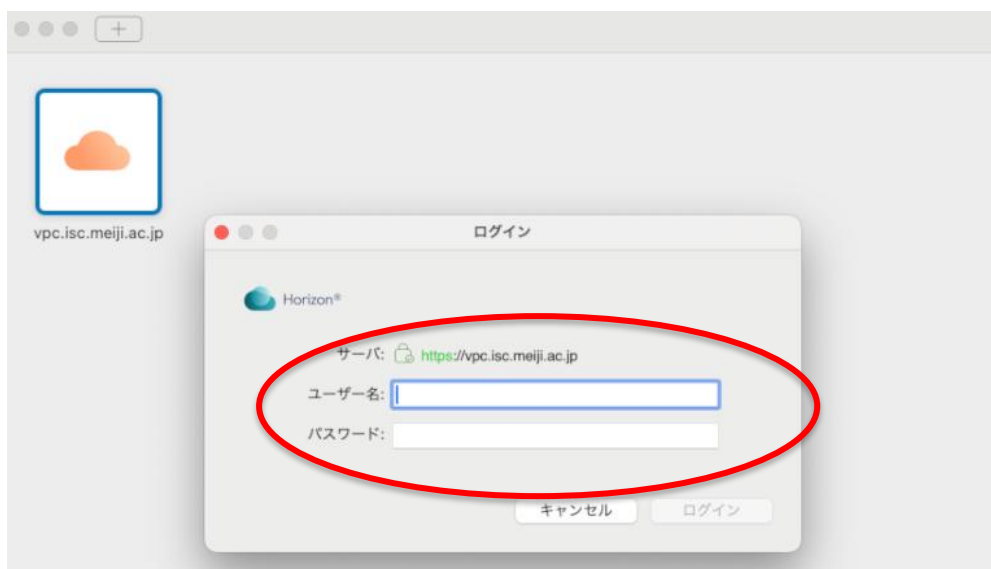


(8) Omnissa Horizon Client を起動し、新規サーバをクリックする。

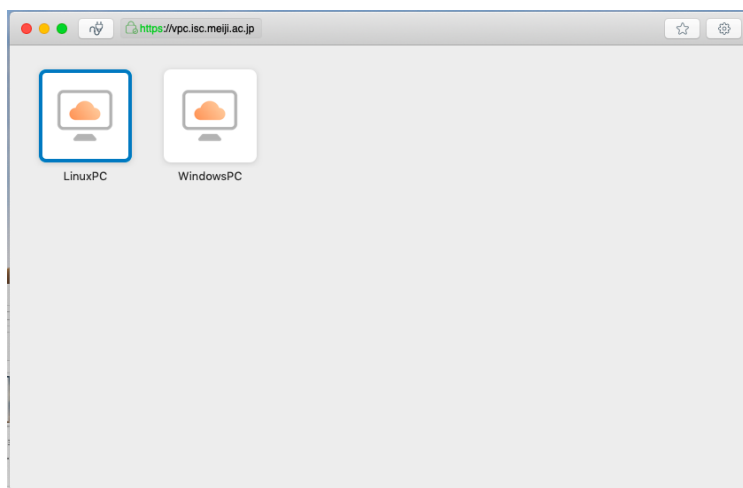
「Connection Server の名前を入力してください。」には、vpc.isc.meiji.ac.jp
「パワーオン時に常に接続する」はデフォルトでチェックが入っている。そのままにする。



(9) 基盤サービス利用アカウントを入力する。

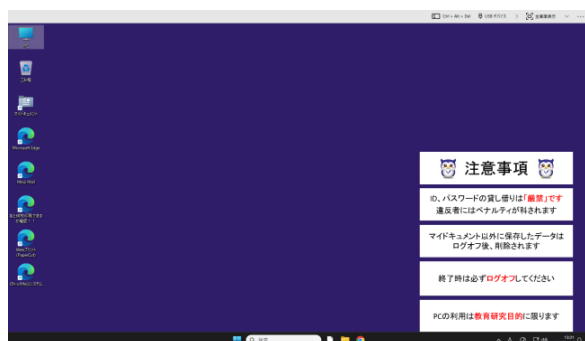


(10) 仮想デスクトップ PC(Windows もしくは Linux)を選択する。

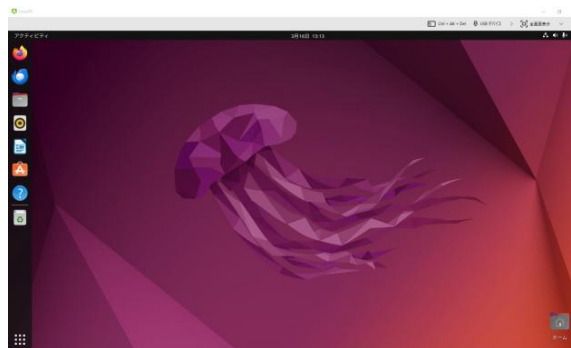


(11) 「生田仮想デスクトップ PC」への接続が完了。

(Windows)

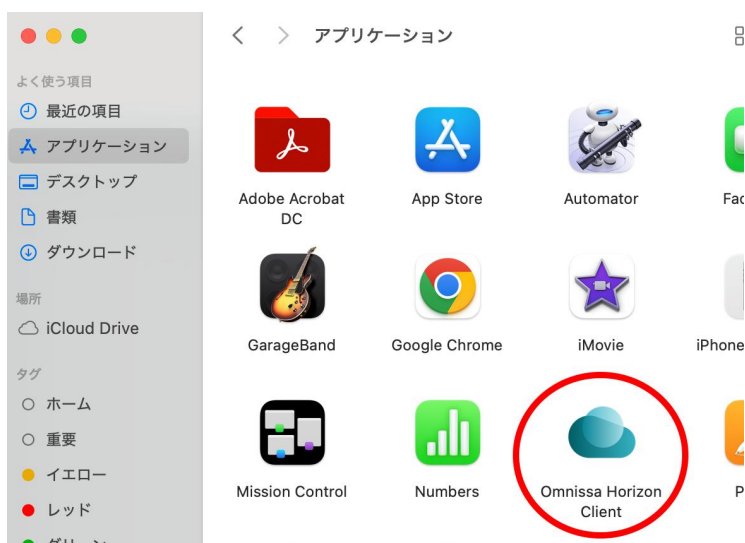


(Linux)

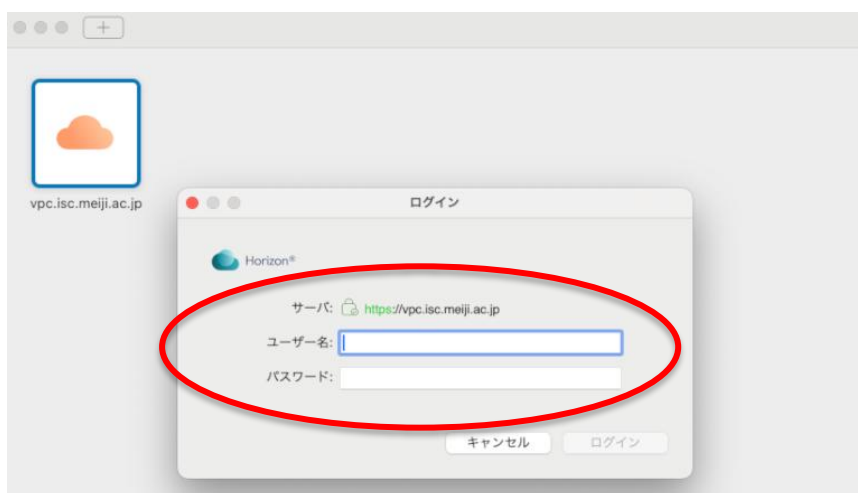


2.2.2 Horizon Client を利用する際の手順（2回目以降）

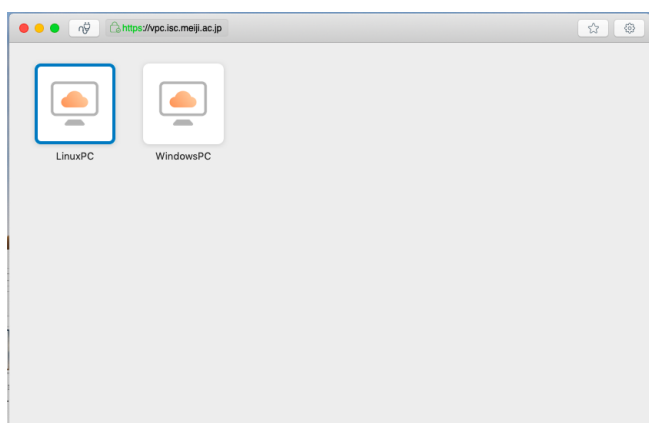
(1) 「アプリケーション」から「Omnissa Horizon Client」を選択し、起動。



(2) 基盤サービス利用アカウントを入力。
(ユーザー名は前回接続したアカウントが入力されています。)

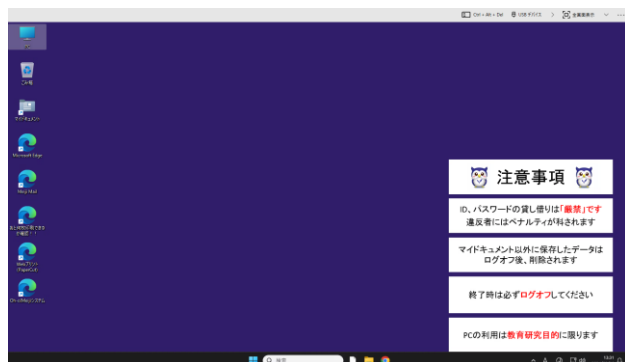


(3) 仮想デスクトップ PC(Windows もしくは Linux)を選択する。

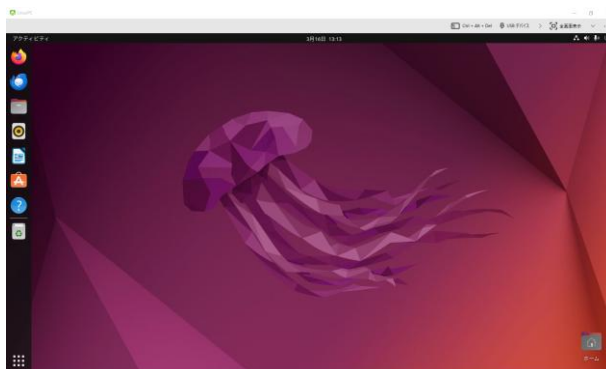


(4) 「生田仮想デスクトップ PC」 への接続が完了。

(Windows)



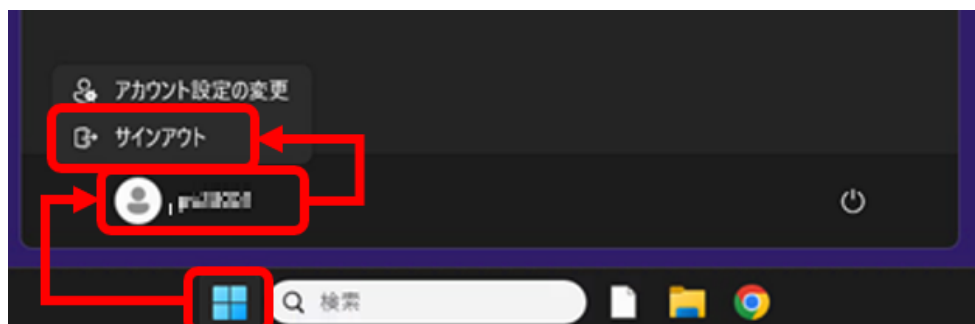
(Linux)



3 生田仮想デスクトップ PC の終了方法

(1) Windows の場合

Windows の「スタート」メニューから「サインアウト」を選択してください。

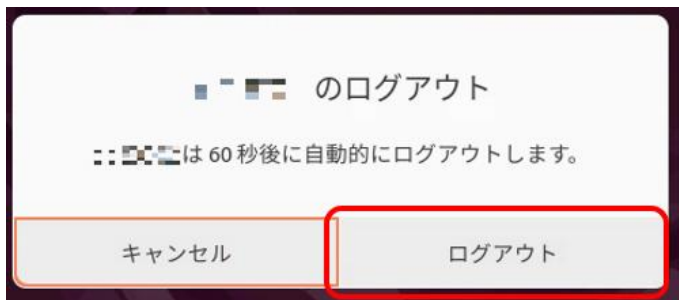


(2) Linux の場合

画面右上の「電源ボタン」からアカウントを選択し「ログアウト」を選択してください。



その後表示される画面で「ログアウト」を選択してください。



4. 生田仮想デスクトップ PC 利用上の注意

4.1. ファイルの保存について

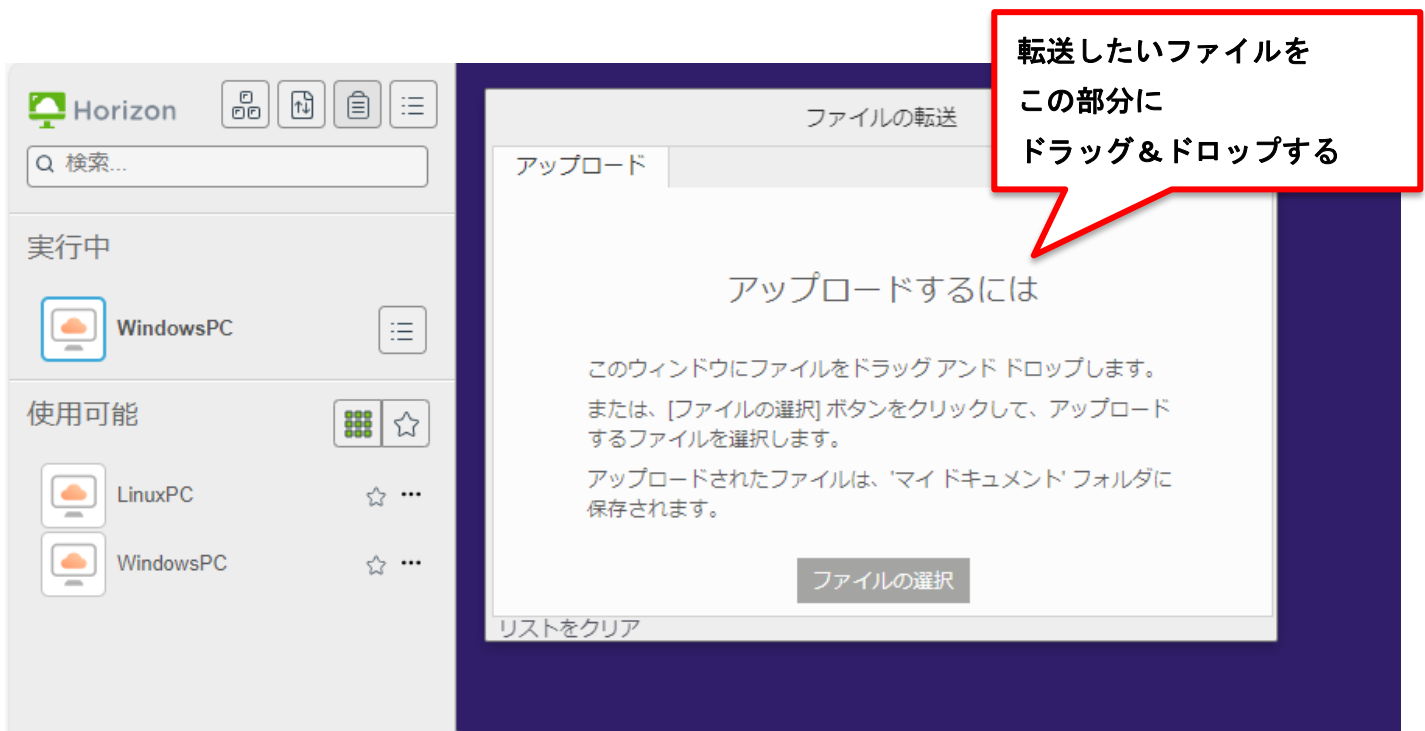
生田仮想デスクトップ PC のデスクトップ上に作成したファイルは、リモートデスクトップ接続を切断後、再接続を行わずに一定時間が経過すると自動的に消去されます。

ファイルを保存したい場合は、「マイドキュメント」フォルダまたは、USB メモリなどをご利用ください。

4.1.1 「マイドキュメント」フォルダの利用

生田仮想デスクトップ PC の「マイドキュメント」フォルダは、情報処理教室 PC 及び メディア自習室 PC の「マイドキュメント」フォルダと共有しています。「マイドキュメント」フォルダにファイルを保存すると、生田仮想デスクトップ PC 上で作成したファイルを情報処理教室 PC 等から開くことができます。またその逆に情報処理教室 PC 等で作成したファイルを生田仮想デスクトップ PC から開くこともできます。

また、HTML アクセスで Windows を利用している場合のみ、画面左端のタブメニューから「ファイルの転送」機能を使用することができます。



「ファイルの転送」ウィンドウにローカル PC のファイルをドラッグ&ドロップ、またはファイルの選択から対象のファイルを選択することで、「マイドキュメント」フォルダ内にファイルがアップロードされます。

4.1.2 USBメモリの利用（Horizon Client アクセスのみ）

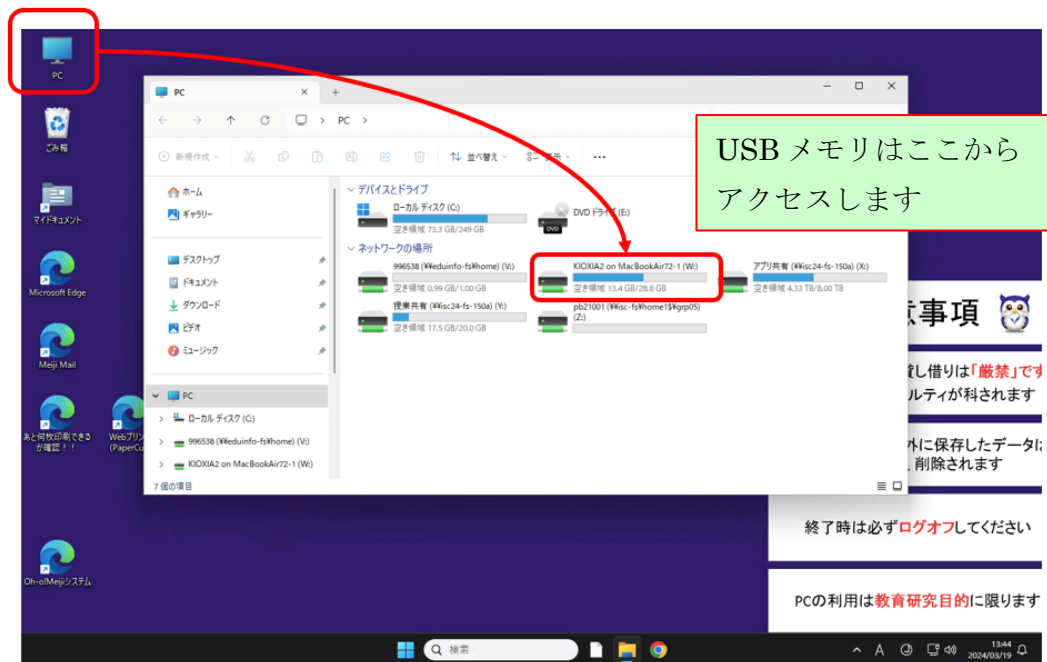
生田仮想デスクトップ PC から自分の USB メモリを利用する方法です。

※仮想デスクトップでの **USBメモリの使用は Horizon Client でのみ可能**です。

Windows の場合

- ① 自分が操作している PC に USB メモリを挿入します。
- ② 生田仮想デスクトップ PC から「PC」アイコンを選択すると、生田仮想デスクトップ PC から利用できるデバイスが表示されます。

※画像の例では「KIOXIA on MacBookAir72-1」と表示されています。

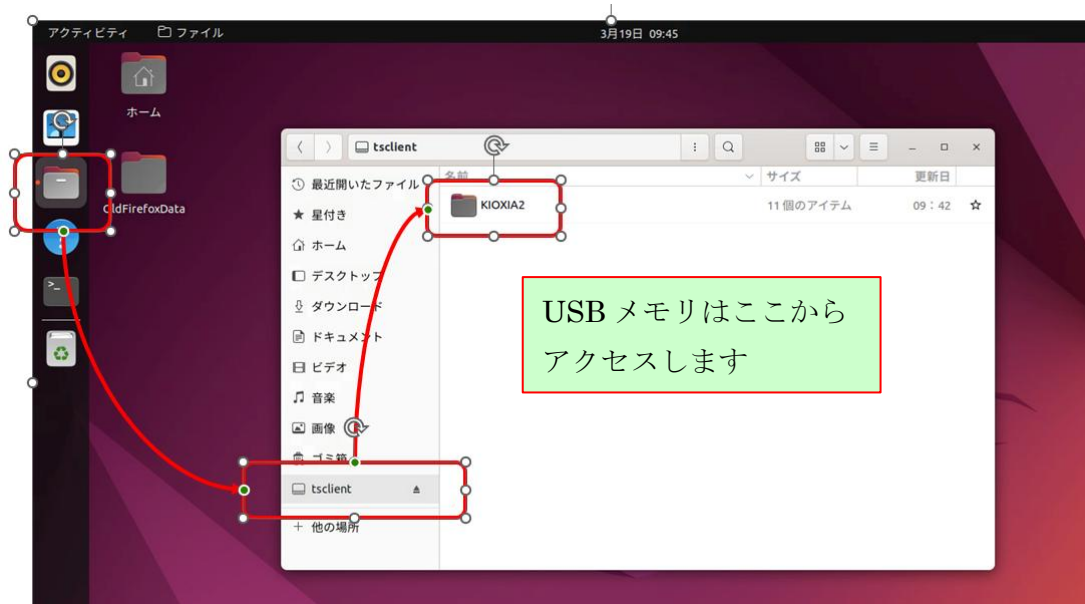


- ③ 必要なファイルを保存してください。

Linux の場合

- ① 自分が操作している PC に USB メモリを挿入します。
- ② 生田仮想デスクトップ PC から「ファイル」アイコンをクリックし、「tsclient」を選択すると、生田仮想デスクトップ PC から利用できるデバイスが表示されます。

※画像の例では「KIOXIA2」と表示されています。



- ③ 必要なファイルを保存してください。

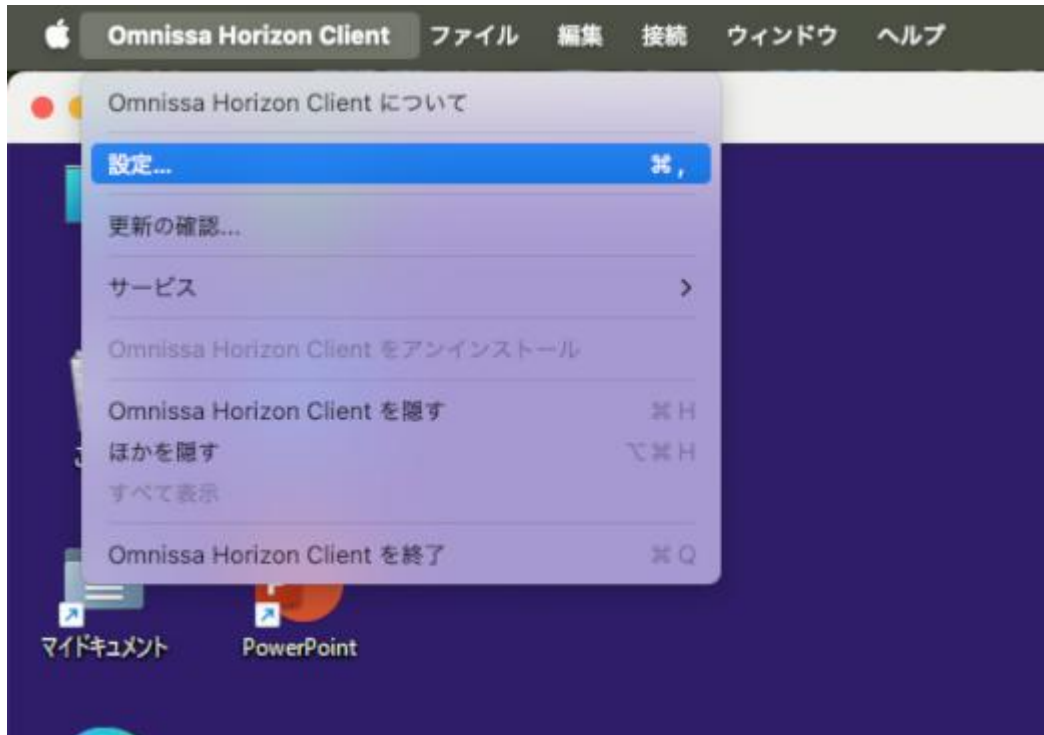
4.1.3 「ドライブ共有」機能（Horizon Client アクセスのみ）

生田仮想デスクトップ PC 上に自分が操作している PC の任意のフォルダを共有（いわゆるマウント）する事で、生田仮想デスクトップ PC 上でもそのフォルダを開けるようになります。そのフォルダにファイルを保存すると、自分の PC と同期して保存されるようになります。

設定方法は Windows、Linux 共通です。

【設定方法】

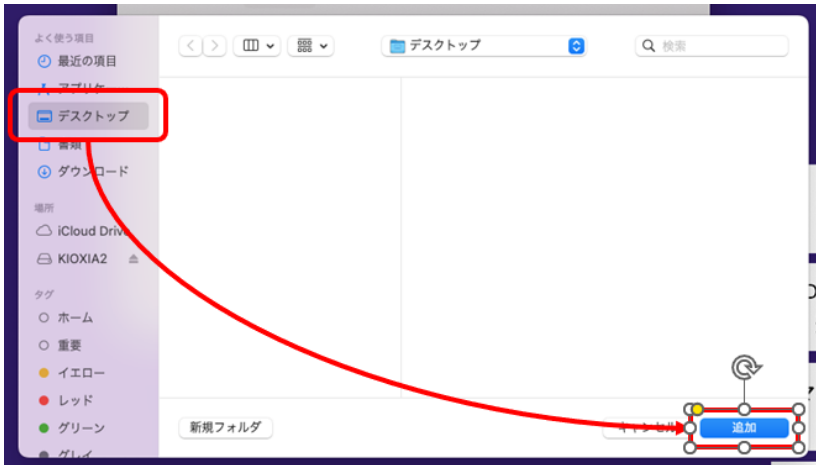
- ① 左上に表示される「Omnissa Horizon Client」をクリックし設定を押します。



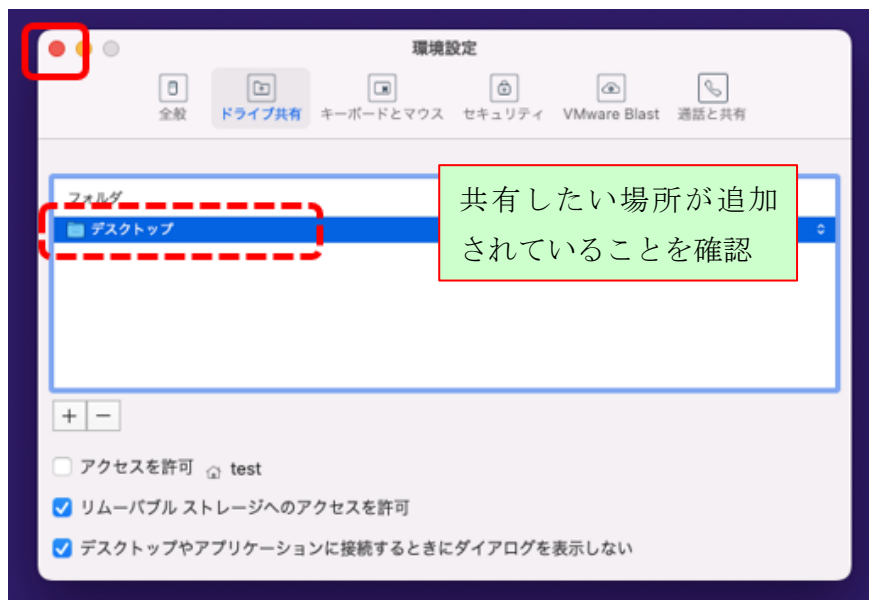
- ② 環境設定画面が表示されたら「ドライブ共有」を選択し、「+」を押します。



- ③ 自分の PC の共有したい場所を選択し、追加を押します。
※画像の例では、「デスクトップ」を選択しています。



- ④ 共有したい場所（例：デスクトップ）が追加された事を確認して左上の赤アイコンを押し閉じます。



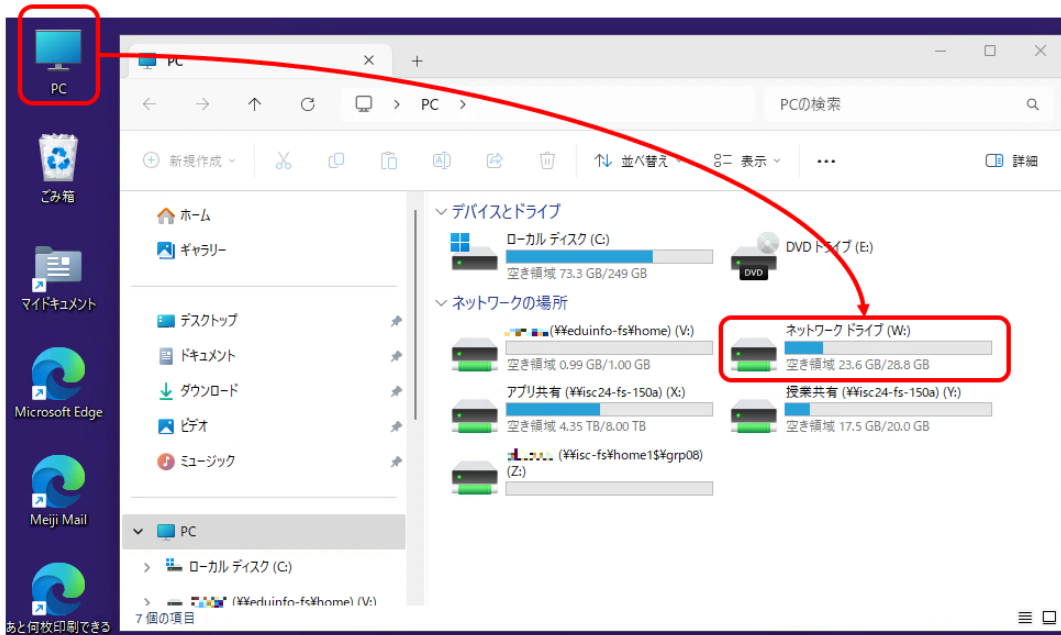
設定は以上です。

各 OS での確認方法は次の通りです。

【確認方法】

Windows の場合

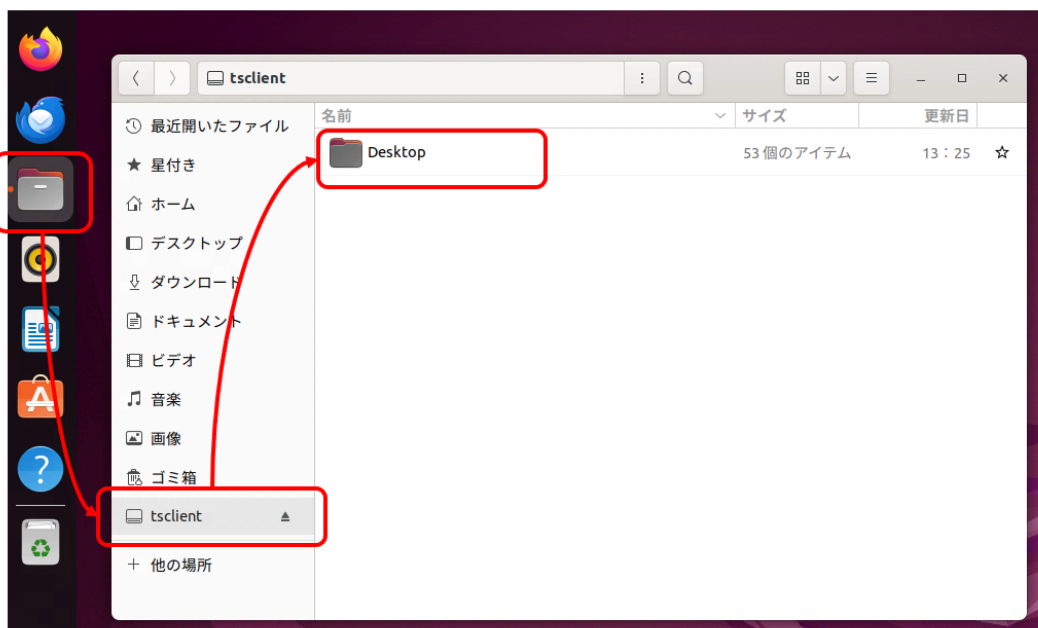
生田仮想デスクトップ PC から「PC」アイコンを選択すると、
生田仮想デスクトップ PC から利用できるデバイスが表示されます。
※マウントしたフォルダは「ネットワークドライブ」と表示されます。



Linux の場合

生田仮想デスクトップ PC から「ファイル」アイコンをクリックし、「tsclient」を選択すると、
PC から利用できるデバイスが表示されます。
※マウントしたフォルダ名が表示され、アクセスができます。

(画像の例は「デスクトップ」フォルダをマウントした場合となります)



4.2. CD/DVD ドライブの利用について

生田仮想デスクトップ PC から、自分が操作している PC の CD/DVD ドライブを利用することは可能です。但し、以下の制約があります。

- (1) CD/DVD ドライブは、外付けドライブとして PC に USB 接続している必要があります。現在のところ、PC 本体に内蔵されている CD/DVD ドライブは、生田仮想デスクトップ PC からは利用できません。
- (2) コピープロテクトがかけられている DVD ビデオは再生できません。

5. 参考資料

- 「生田仮想デスクトップ PC」
 - <https://www.meiji.ac.jp/isys/vdesktop/>